

ひとなる

発行：白川町教育委員会
—「白川を愛し、たくましく心の
あったかい子を育む美濃白川」—

桜満開 えがお満開



4月4日と5日に町内保育園で入園式が、4月8日には小学校と中学校で入学式が行われました。今年の入園式、入学式はここ数年とは少し違うものでした……。それは、久しぶりに「歌声のある会」になったからです。鈴村教育長は、「感動して涙が出そうになった。」と教育委員会に帰ってきました。子どもたちの元気な姿から、私たちもエネルギーをもらっています。

町内では、この4月に保育園に13人、小学校に30人、中学校に48人が入園・入学し、計430人の園児・児童・生徒が、新しい目標をもって頑張り始めました。町内の園や学校では、150名ほどの教職員

が、子どもたちの成長を支えていきます。しかし、園や学校の力だけでは、子どもの成長は限られます。「白川を愛し、たくましく心のあったかい子」を育てるために、これからも地域の皆様の温かいご支援をよろしくお願いします。

学級通信から

入学式・進級式の翌日。学級活動の時間に「3人がつくるクラス。どんなクラスだったらいいな~と思う?」と聞いてみました。すると・・・「みんながたのしい」「がんばるクラス」「たのしくなるには、きょうりよくするといいいんだよ。」「うんどうもがんばってかっこいいクラスがいい」「おべんきょうも、わすれちゃったらいけないでしょう。」「たすけあい!たすけあいがだいじだよ。」・・・と素敵な考えをいっぱいお話してくれました。3人の話し合いのおかげで、クラスの目標ができました。



青雲の集い（中学校2年生）に行ってきます!!

- ねらい
 - (1) 将来を担う一員として、自己を見つめなおす
 - (2) 自然に親しみ、豊かな情操を養う
 - (3) 集団生活の規律を身に付け、連帯意識を高める
- 期日
 - ・令和6年6月5日（水）～7日（金）2泊3日
- 場所
 - ・独立行政法人 国立青少年教育支援機構 国立若狭湾青少年自然の家



一回い大きく成長した子どもたちに期待!



4月いろいろなことが「はじまり」ですが・・・

「教科書のはじまり」

昭和38年に始まりました。それまでは有償でした。国は「次代を担う児童生徒の国民的自覚を深め、我が国の繁栄と福祉に貢献してほしいという国民全体の願いを込めて行われているものであり、同時に教育費を軽減するという効果がある」と述べ、現在は無償で給付されています。実際に購入すると2～3万円（1学年分）ほどになります。記名を確実にし、丁寧に扱うよう、家でも声掛けをお願いします。

「給食のはじまり」

明治22年に、山形県鶴岡市の市立忠愛小学校で始まりました。メニューは「おにぎり、焼き魚、漬物」でした。その後、太平洋戦争中は食糧不足のため一時中断をしたこともありました。岐阜県ではほとんどの学校で、牛乳、主菜、副菜、ごはん（パン、麺）が給食に提供されます。県外では、牛乳のみ、中学校は給食なしという所もあります。現在、白川町の、給食費は一食、小学校260円、中学校290円となっています。このお金は食材費のみに当て、さらに町費で50円ずつ上乗せしています。また、昨今の食材費の高騰による不足分等は町で補っています。いろんな方々に助けられて給食を食べられることに感謝したいものです。